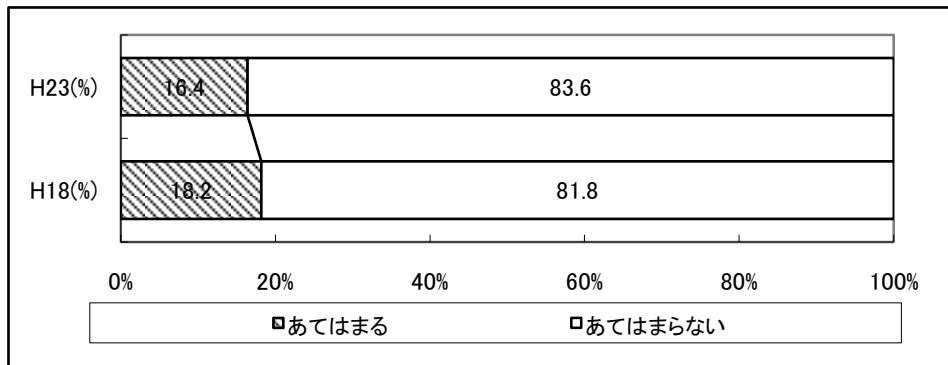


〈学部卒業生〉

Q97 将来、本学の修士課程で学習したいと思う

	H18(人)	H23(人)
あてはまる	8	11
あてはまらない	36	56
計	44	67

	H18(%)	H23(%)
あてはまる	18.2	16.4
あてはまらない	81.8	83.6
計	100.0	100.0



【自由記載】

いつか:CNS

未定:地域看護

来年もしくは再来年:老年看護

未定:がん看護

まだ未定

【評価と今後の対策】

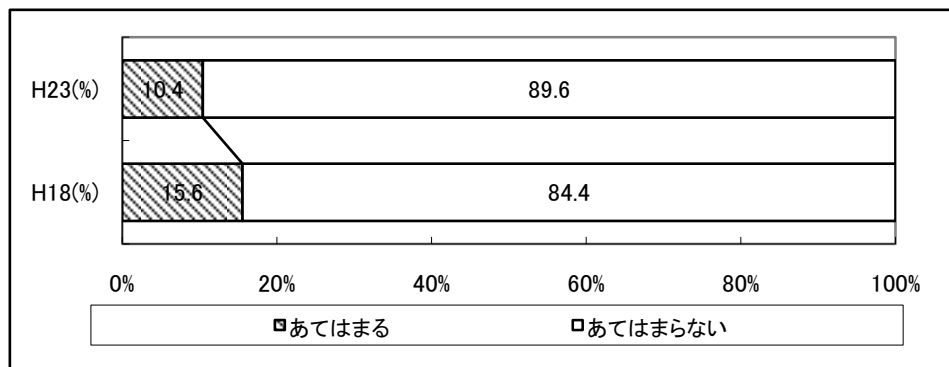
将来本学の修士課程で学習したいかについては、平成18年度と比較し15%とやや減少していた。未定だが、いつかCNS、老年、地域の進学の声があった。

〈学部卒業生〉

Q98 将来、本学の博士課程で学習したいと思う

	H18(人)	H23(人)
あてはまる	7	7
あてはまらない	38	60
計	45	67

	H18(%)	H23(%)
あてはまる	15.6	10.4
あてはまらない	84.4	89.6
計	100.0	100.0



【自由記載】

未定:地域看護

未定

【評価と今後の対策】

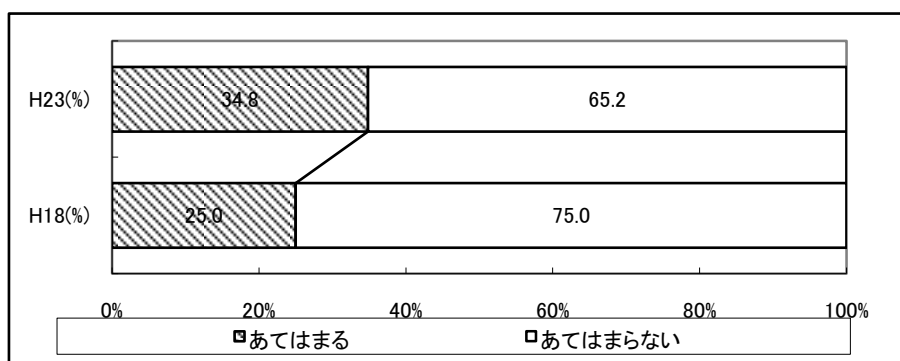
将来本学の博士課程で学習したいかについては、平成18年度よりさらに減少し10%まで落ち込んでいた。進学は未定だが地域看護への進学が上がっていた。

〈学部卒業生〉

Q99 伝統として今後も残して欲しい本学の長所がある

	H18(人)	H23(人)
あてはまる	10	23
あてはまらない	30	43
計	40	66

	H18(%)	H23(%)
あてはまる	25.0	34.8
あてはまらない	75.0	65.2
計	100.0	100.0



【自由記載】

充実したカリキュラム、学生の元気良さ
ちゅらわらばーを継続してほしい
きれいな施設 庭 外観 2人
沖縄の良さを取り入れて地域住民を含んだ学習環境。学食。
ハワイ研修 2人
国際保健看護学
地域と近いところ
学校の雰囲気
図書館
島嶼看護が学べる 2人
学生の活発性
離島での実習2人
卒業論文がある。

【評価と今後の対策】

伝統として今後も残してほしい本学の長所については、平成18年度と比較し35%とやや増加していた。その内容はハワイ研修、宮古島実習・離島実習などの島嶼看護、地域住民を取り込んだ学習環境、実習、卒業論文、充実したカリキュラムがあがった。また、きれいな校舎、のびのびした校庭、図書館、学食などの大学環境があがった。ほか、学生生活発さ、サークル活動のちゅらわらばー、学校の雰囲気が上がった。

島嶼保健看護を本学の特徴とし、実習に全学的に取り組んできたことに対し、学生から伝統として残したい長所として受け止められていることから、教育の成果と捉えることができる。また、国際保健看護の視点からハワイ研修があがったこと、本学が取り組んできた教育の特徴を長所として学生が受け止めておりその比率が徐々に上がっていることは成果と捉えられる。

・その他、大学、教職員に対する意見

卒業後の図書館利用制限の改善 2人

カリキュラムがきつすぎたと思う。実践に近い内容が必要だと思う。2人

東洋医学やアロマセラピー等代替医療等に関する講義があれば受講したかった。

4年次の負担を減らすと、国試にも身が入ると思う。教員はわかりやすい講義を考えてほしい。

アンケートをするなら、卒業後すぐがいいと思います。科目など覚えていないことが多いので。

小さい大学であることのメリット・デメリットを考えて特徴を生かされているのか疑問。

養護一種を習得できるようにしてほしい。卒業後も取得できるように助産別科のような感じで開講してほしい。

ますますのご発展をお祈りいたします。ありがとうございました。大変お世話になりました。自分の夢をかなえることができ満足です。2人

教員の生徒に対するあり方を改めてほしい。大学の評価ばかり気にして生徒のことは何も考えていない。この大学はとて他の人に勧められる大学ではない。卒業した今でも、本当に教員に恵まれなかったとつくづく思う。

